

# 公益社団法人 2027年国際園芸博覧会協会

## 第17回理事会

### 提案事項

#### 1 提案事項

- 第1号提案 2023年度事業報告について
- 第2号提案 2023年度決算について
- 第3号提案 常勤理事の報酬の額について
- 第4号提案 財務委員会の委員の選任について
- 第5号提案 理事の利益相反取引の承認について
- 第6号提案 第9回（定時）社員総会の開催について

#### 2 報告事項

- 第1号報告 2023年度内部監査結果について
- 第2号報告 特定寄附金及び指定寄附金に関する指定期間の延長について
- 第3号報告 理事の利益相反取引の報告について

#### 3 参考

- 役員名簿（第17回理事会時点）
- 2024年度 理事会総会等予定一覧

**公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会**  
**第17回理事会**  
**資料一覧**

第17回理事会提案書

<第1号提案 2023年度事業報告について>

資料1 2023年度事業報告書(案)

資料2 監査報告

<第2号提案 2023年度決算について>

資料3 2023年度財務諸表等(案)

<第4号提案 財務委員会の委員の選任について>

資料4 財務委員会委員就任状況(第17回理事会時点)

<第5号提案 理事の利益相反取引の承認について>

資料5 職員出向に関する協定書

公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会  
第17回理事会  
提案書

## 提案事項 第1号提案

### 2023年度事業報告について

定款第42条第1項の規定により、2023年度事業報告について、資料1のとおり提案します。

なお、監事からは、資料2のとおり監査報告を受領しています。

#### 【参考条文】

○公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会 定款

第42条 協会の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、代表理事が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を受けなければならない。

- (1) 事業報告
- (2) 事業報告の附属明細書
- (3) 貸借対照表
- (4) 損益計算書（正味財産増減計算書）
- (5) 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の附属明細書
- (6) 財産目録

- ・資料1 2023年度事業報告書（案）
- ・資料2 監査報告

# 2023年度事業報告書

(案)

自 2023年4月1日

至 2024年3月31日

公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会

# 公益社団法人 2027年国際園芸博覧会協会

## 2023年度事業報告書

(2023年4月1日から2024年3月31日まで)

### 1 博覧会の開催に向けた事業の実施

#### (1) 業務領域別の計画策定・推進

2027年国際園芸博覧会（以下「博覧会」という。）の開催準備を着実に推進するため、基本計画を踏まえた業務領域別の計画を策定・推進するとともに、参加招請や植物調達に関する調整等を進めた。

##### ア 展示・出展計画

- ・テーマ館展示及び展示園に関する基本設計を行った。
- ・「GREEN×EXPO 2027 共創キックオフ・ミーティング」を開催し、出展・協賛等に関する参加メニューを公表するとともに、企業・団体等へ参画を呼びかけた。

(9月)

- ・「第2回 GREEN×EXPO 2027 花と緑の共創推進会議」を開催し、花き園芸・造園に関連する団体と、博覧会開催に向けた機運醸成、出展方法等に関する案内や意見交換を行った。(10月)
- ・「GREEN×EXPO 2027 共創フォーラム」を開催した。あわせて、「花・緑出展」「Village 出展」に関する公募要領を公表し、出展に向けた手続を開始した。(3月)
- ・日本政府と連携し、駐日大使館向け説明会・現地視察会を実施するなど、外国政府・国際機関等に対して参加招請を進めた。

##### イ 行催事計画

- ・公式行事や主催者・参加者催事等に関する行催事基本計画を策定した。

##### ウ 会場計画

- ・基盤施設など会場整備の実施設計を行った。
- ・屋内展示施設（テーマ館及び園芸文化館）、仮設のサービス施設や管理運営施設等の基本設計を行った。

##### エ 植物監理計画

- ・植物監理・調達・維持管理に関する検討の深度化を図った。
- ・植物調達パートナーを公募し、認定を行った。

##### オ 運営計画

- ・来場者サービスや会場内警備等に関する会場運営・会場管理基本計画を検討した。

##### カ 輸送計画

- ・関係機関の委員で構成する輸送対策協議会や有識者との技術検討会での議

論を踏まえ、来場者輸送基本計画を策定した。

キ コミュニケーション計画

- ・博覧会開幕までを視野に入れた広報計画を策定し、認知度向上や企業参加促進に取り組んだ。

ク サステナビリティ戦略・実施計画

- ・持続可能性有識者委員会での審議等を踏まえ、サステナビリティ戦略・実施計画、持続可能性に配慮した調達コードを策定した。

(2) 環境影響評価手続の実施

環境影響評価手続を横浜市の条例に基づき計画的に実施した。

ア 環境影響評価方法書の修正手続完了（7月）

イ 環境影響評価準備書の公告・縦覧（10～12月）及び説明会の開催（10月）

ウ 環境影響評価書（案）の作成

(3) 国際機関との調整

国際園芸家協会（以下「AIPH」という。）及び博覧会国際事務局（以下「BIE」という。）とA1クラスの国際園芸博覧会開催に必要な連絡・調整を行った。

ア AIPH及びBIEの要件等に基づく特別規則や計画等の検討

- ・特別規則の第1号（テーマ）及び第2号（参加条件）についてBIE総会において承認された。（6月）
- ・特別規則の第1号及び第2号に関わる参加ガイドラインを策定した。（3月）

イ AIPH及びBIEとの連絡・調整

- ・AIPHの視察を受け入れ、準備状況について報告した。

2023年7月11日 神奈川県・横浜市 表敬訪問、上瀬谷現地視察

7月12日 農水省・国交省 表敬訪問、博覧会協会報告・質疑応答等

- ・AIPH博覧会委員会及びBIE総会等に出席し、進捗報告を行った。

2023年5月10日 BIE執行委員会（フランス・パリ）

5月11日 BIE情報コミュニケーション委員会（フランス・パリ）

5月12日 BIE規則委員会（フランス・パリ）

6月20日 第172回BIE総会（フランス・パリ）

9月18日 AIPH博覧会委員会（韓国・順天市）

10月13日 BIE執行委員会（フランス・パリ）

10月19日 BIE情報コミュニケーション委員会（フランス・パリ）

11月28日 第173回BIE総会（フランス・パリ）

2024年3月4日 AIPH博覧会委員会（カタール・ドーハ）

## 2 博覧会の機運醸成に関する事業の実施

博覧会の認知向上を図るため、公式ロゴマーク等を活用し、広報 PR・機運醸成活動を実施した。

### ア 国内外のイベント等での情報発信

- ・俳優 芦田愛菜さんの公式アンバサダー就任発表を行った。(9月)
- ・「GREEN×EXPO 2027 共創キックオフ・ミーティング」を開催し、出展・協賛等に関する参加メニューを公表した。採録記事を神奈川新聞に掲載した。(9月)
- ・「GREEN×EXPO 2027 開催3年前記者発表会」にて公式マスコットキャラクターデザイン発表・名前募集を行うとともに、「GREEN×EXPO 2027 共創フォーラム」を開催した。採録記事を日本経済新聞に掲載した。(3月)
- ・カタールで開催された2023年ドーハ国際園芸博覧会(10月～3月)の日本国政府出展において、博覧会をPRする展示を行った。また、1月14日に開催されたジャパンデーに合わせて、博覧会をPRする展示(花壇・パネル・映像等)を横浜市と連携して集中的に実施したほか、レセプションにおいて博覧会をPRするプレゼンテーションを実施した。閉会式ではAIPHの開催旗が次期開催国である日本に引渡された。
- ・「グリーンインフラ産業展」や当博覧会開催予定地で開催された「FLOWER Fes 2024」などで本博覧会のブースを設け、多くの来場者に対してPRを行った。
- ・博覧会の認知度向上や機運醸成を目的として、東京都、神奈川県を中心に、各種イベントに出展した。

### 【2023年度の主な出展イベント】

イベント名	開催期間	開催場所
G7 長野県軽井沢外務大臣会合	4月16日～18日	長野県軽井沢町
G7 宮崎農業大臣会合	4月22日～23日	宮崎県宮崎市
第40回全国都市緑化仙台フェア	4月26日～6月18日	宮城県仙台市
G7 広島サミット	5月19日～21日	広島県広島市
G7 香川・高松都市大臣会合	7月7日～9日	香川県高松市
サマーコンファレンス2023	7月22日～23日	横浜市(臨港パーク)
ベトナムフェスタin神奈川2023	9月9日～10日	横浜市(日本大通り)
フラワートライアルジャパン2023 秋	9月26日～28日	長野県茅野市他
都市緑化キャンペーン2023	10月6日	東京都千代田区
ワールドフェスタ・ヨコハマ2023	10月7日～8日	横浜市(山下公園)
第21回日比谷公園ガーデニングショー	10月21日～25日	東京都千代田区(日比谷公園)
新横浜パフォーマンス2023	10月28日～29日	横浜市(新横浜)
第52回横浜花き展覧会	12月5日～7日	横浜市(市庁舎)
グリーンインフラ産業展2024	2月20日～22日	東京都中央区
Flower Fes 2024	3月16日～17日	横浜市(旧上瀬谷通信施設)

## イ 公式ホームページ等での国内外への情報発信

- ・12月に公式 Instagram、Facebook を開設し、公式 X と併せて、最新情報などの発信を、それぞれの特性を生かして幅広い世代へ行った。
- ・花き園芸・造園関係団体等の機関誌・会報誌への寄稿や情報提供を通じ、関係団体の皆様とともに本博覧会の成功に向けた機運醸成活動を行った。

### 【機関誌・会報誌名等】【団体名】（五十音順）

機関紙・会報誌名等	発行元
「園芸文化」	公益社団法人 園芸文化協会
「グリーン情報」	株式会社グリーン情報
「建設物価」8月号	一般財団法人 建設物価調査会
「ISUニュースレター」	国際多肉植物協会
「I. S. I. Jニュースレター3月号」	国際多肉植物協会
「JFTD通信」「花キューピット通信」	一般社団法人 JFTD
「タウンニュース」	株式会社タウンニュース社
「千葉の花」	一般社団法人 千葉造園緑化協会
「Discover Japan 相鉄線に乗って みつける！横浜中央部」	株式会社ディスカバー・ジャパン
「都市緑化技術」	公益財団法人 都市緑化機構
「都市のオアシスさんぽNO.16」	公益財団法人 都市緑化機構
「JAPAN HORTICULTURAL THERAPY SOCIETY NEWS LETTER GREEN STEP N098」	NPO法人 日本園芸療法研修会事務局
「GA コミュニケーション」	公益社団法人 日本家庭園芸普及協会
「月刊経団連2月号」	一般社団法人 日本経済団体連合会
「公園緑地」	一般社団法人 日本公園緑地協会
「種苗界」	一般社団法人 日本種苗協会
「造園連新聞1364号」	一般社団法人 日本造園組合連合会
「日造協ニュース」	一般社団法人 日本造園建設業協会
「造園修景」	一般財団法人 日本造園修景協会
「花の友」	公益財団法人 日本花の会
「JFMAニュース」	一般社団法人 日本フローラルマーケティング協会
「グリーン・エージ」	一般財団法人 日本緑化センター
「MUSIC CITY YOKOHAMA 2023-2024」	ぴあ株式会社
「FAJトレードフェア2023秋 商品カタログ」	株式会社 フラワーオークションジャパン
「花」	一般社団法人 フラワーソワエティ
「ランドスケープデザイン」	(株)マルモ出版
「マイガーデン」	(株)マルモ出版
「第60回花壇展記念誌」	一般社団法人 横浜市造園協会
「横造協だより」	一般社団法人 横浜市造園協会
「みどり」	公益財団法人 横浜市緑の協会
「横浜商工季報」	横浜商工会議所

#### ウ 広報ツール・活動計画の検討・展開 等

- ・公式ロゴマークを決定し、公式ロゴマーク等を活用した広報 PR・機運醸成活動を行った。(4月～)
- ・公式アンバサダーに俳優 芦田愛菜さんが就任した。(9月)
- ・公式マスコットキャラクターの発表、名前の募集開始等を行った。(3月)
- ・公式クリエイター 蜷川実花さんによる新たなキービジュアルを活用したポスター展開やチラシ配布等を開始した。(3月～)

### 3 事務局体制の整備・強化と健全な財務運営

#### (1) 事務局体制の整備・強化

国・経済界・自治体から多様な人材を確保し、事務局体制を強化した。

- ア 事務局体制の整備・強化、業務に応じた人材の確保
- イ 効率的・効果的な事務局体制のあり方等の検討 等

#### (2) 効果的・効率的な予算の管理・執行

円滑な開催準備と健全な財務運営の両立を図るため、効果的・効率的な収入確保・支出管理に取り組んだ。

- ア 基本計画で定めた資金計画に基づく資金調達・予算管理
- イ 予算執行段階における事業実施方法の検証、コスト削減
- ウ 入札・契約における適正な競争環境や適切な履行の確保 等

#### (3) 財務基盤の強化に向けた資金調達

協会の財務基盤を強化するため、資金調達活動に取り組んだ。

- ア 寄附金の募集・拡充に向けた取組
- イ 補助金等の各種資金の確保に向けた調整 等

#### (4) ガバナンス機能の強化

コンプライアンスの推進を図るため、ガバナンス機能を強化した。

- ア 監査課を設置
- イ コンプライアンス委員として外部有識者を委嘱
- ウ 業務の準拠性の確認及び業務の効率化を図るため内部監査を実施

## 4 社員総会・理事会の開催

### (1) 第10回理事会(2023年6月13日)

#### ア 開催場所

東京商工会議所 渋沢ホール(東京都千代田区丸の内3-2-2)  
(Web会議システムの併用による会議)

#### イ 決議事項

- ・2022年度事業報告及びその附属明細書について
- ・2022年度計算書類及びその附属明細書並びに財産目録について
- ・財務委員会の設置及び委員の選任について
- ・第7回(定時)社員総会の開催について

#### ウ 報告事項

- ・事務次長及び事務次長補の辞任について

#### エ 出席等

議決権のある総理事数21名、出席理事数16名、出席監事数2名

### (2) 第7回(定時)社員総会(2023年6月13日)

#### ア 開催場所

東京商工会議所 渋沢ホール(東京都千代田区丸の内3-2-2)  
(Web会議システムの併用による会議)

#### イ 決議事項

- ・理事の選任について
- ・常勤理事の報酬の額について
- ・2022年度計算書類及び財産目録について

#### ウ 報告事項

- ・2022年度事業報告について
- ・2023年度事業計画及び収支予算について

#### エ 出席等

全議決権数10団体、出席社員数10団体、出席理事数16名、出席監事数2名

### (3) 第11回理事会(2023年6月13日)

#### ア 開催場所

東京商工会議所 渋沢ホール(東京都千代田区丸の内3-2-2)  
(Web会議システムの併用による会議)

#### イ 決議事項

- ・会長(代表理事)、副会長及び事務次長(業務執行理事)の選定について
- ・会長職を代行する事務総長及び事務次長の順序について
- ・事務次長の職務権限規程について
- ・理事の利益相反取引の承認について

#### ウ 報告事項

- ・代表理事及び業務執行理事の職務執行状況について
- ・理事の利益相反取引の事後報告について
- ・博覧会協会のガバナンスについて
- ・輸送計画の検討状況について
- ・参加国招請について
- ・機運醸成について

エ 出席等

議決権のある総理事数 23 名、出席理事数 18 名、出席監事数 2 名

**(4) 第 12 回理事会 (2023 年 6 月 23 日)**

ア 開催方法

決議省略の方法による

イ 提案事項

- ・2027 年国際園芸博覧会寄附金募集基本方針について
- ・第 8 回 (臨時) 社員総会の決議の省略について

ウ 出席等

提案事項につき、理事 23 名の全員から書面により同意の意思表示を、監事 2 名の全員から書面により異議がないとの意思表示を得たため、当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなされた。

**(5) 第 8 回 (臨時) 社員総会 (2023 年 7 月 1 日)**

ア 開催方法

決議省略の方法による

イ 提案事項

- ・理事の選任について
- ・役員報酬等並びに費用に関する規程の改正について
- ・常勤理事の報酬の額について

ウ 出席等

提案事項につき、社員 10 団体の全てから書面により同意の意思表示を得たため、当該提案を可決する旨の社員総会の決議があったものとみなされた。

**(6) 第 13 回理事会 (2023 年 7 月 1 日)**

ア 開催方法

決議省略の方法による

イ 提案事項

- ・常勤理事の報酬の額について
- ・事務次長 (業務執行理事) の選定について
- ・会長職を代行する事務総長及び事務次長の順序について
- ・事務次長の職務権限規程の改正について

ウ 出席等

提案事項につき、理事 24 名の全員から書面により同意の意思表示を、監事 2

名の全員から書面により異議がないとの意思表示を得たため、当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなされた。

**(7) 第14回理事会 (2023年11月13日)**

ア 開催場所

経団連会館 4階 ダイアモンドルーム北  
(東京都千代田区大手町 1-3-2)  
(Web会議システムの併用による会議)

イ 報告事項

- ・代表理事及び業務執行理事の職務執行状況について
- ・理事の利益相反取引の事後報告について
- ・「GREEN×EXPO ラボ」について
- ・サステナビリティ関係計画等の方向性について
- ・来場者輸送基本計画の検討状況について
- ・GREEN×EXPO 2027 共創キックオフ・ミーティングについて
- ・広報・機運醸成について
- ・GREEN×EXPO 2027 会場予定地等の視察について

ウ 出席等

議決権のある総理事数 24 名、出席理事数 14 名、出席監事数 2 名

**(8) 第15回理事会 (2024年1月30日)**

ア 開催方法

決議省略の方法による

イ 提案事項

- ・財務委員会の委員の選任について

ウ 出席等

提案事項につき、理事 24 名の全員から書面により同意の意思表示を、監事 2 名の全員から書面により異議がないとの意思表示を得たため、当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなされた。

**(9) 第16回理事会 (2024年3月25日)**

ア 開催方法

決議省略の方法による

イ 提案事項

- ・2024年度 事業計画及び収支予算について
- ・常勤理事の報酬の額について
- ・理事の利益相反取引の承認について

ウ 報告事項

- ・財務委員会の開催について
- ・サステナビリティ戦略の策定等について
- ・来場者輸送基本計画の策定について

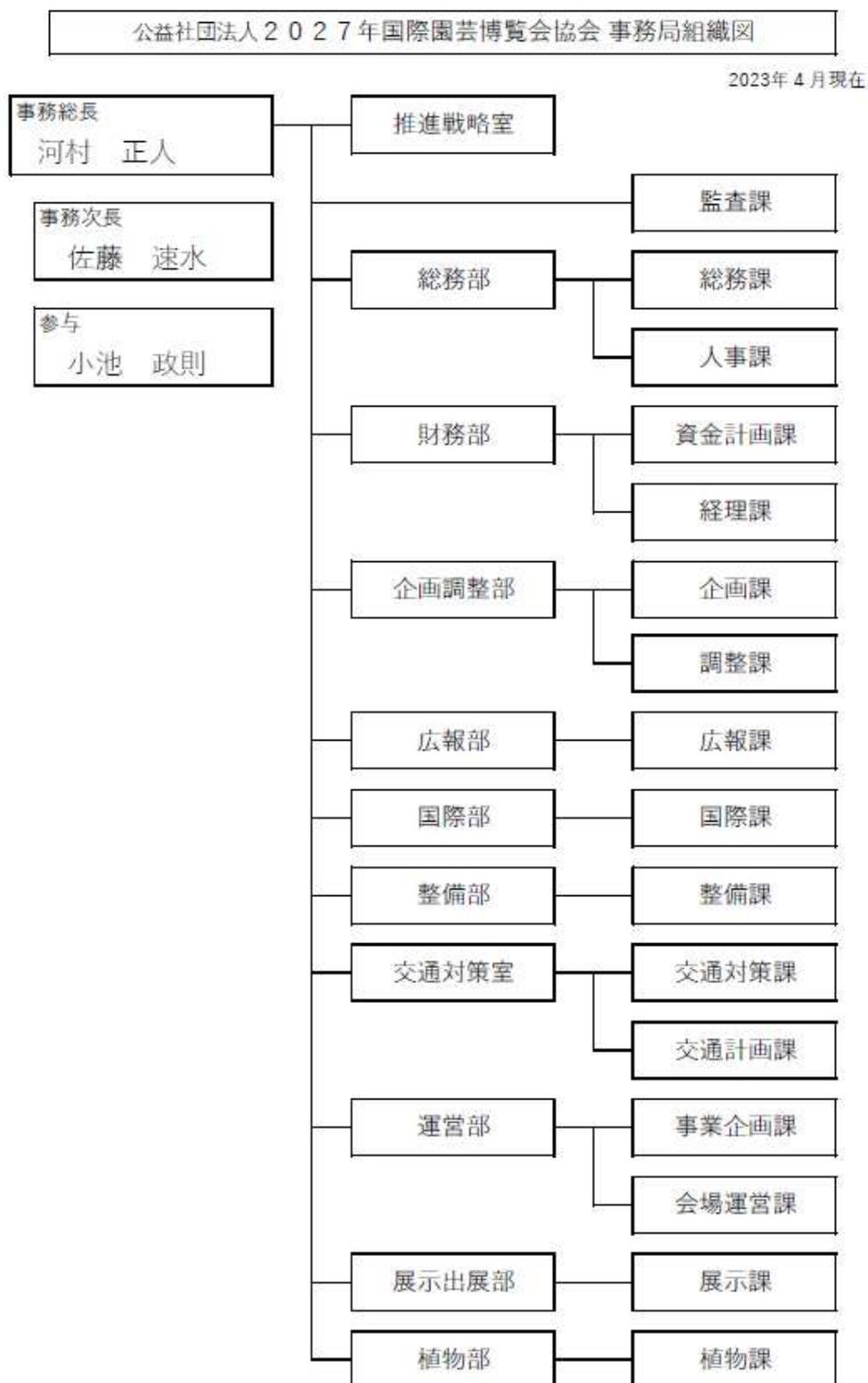
- ・会場整備にかかる工事等の発注見通しの公表について
- ・3年前イベントの開催について
- ・出展に関する公募要領の公表について
- ・広報・機運醸成の取組について

エ 出席等

提案事項につき、理事 24 名の全員から書面により同意の意思表示を、監事 2 名の全員から書面により異議がないとの意思表示を得たため、当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなされた。

## 5 事務局体制

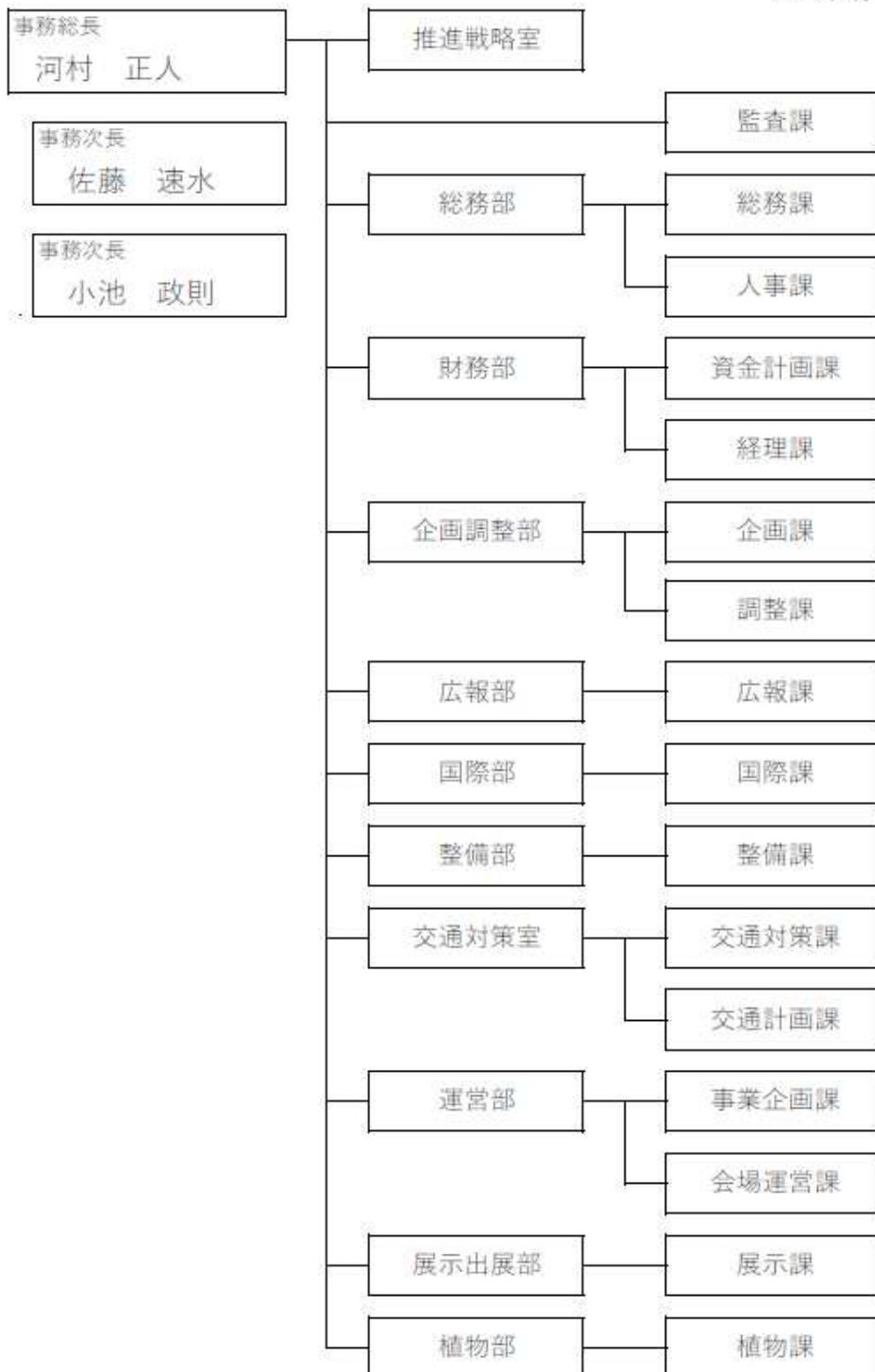
### 事務局組織図（2023年4月時点）



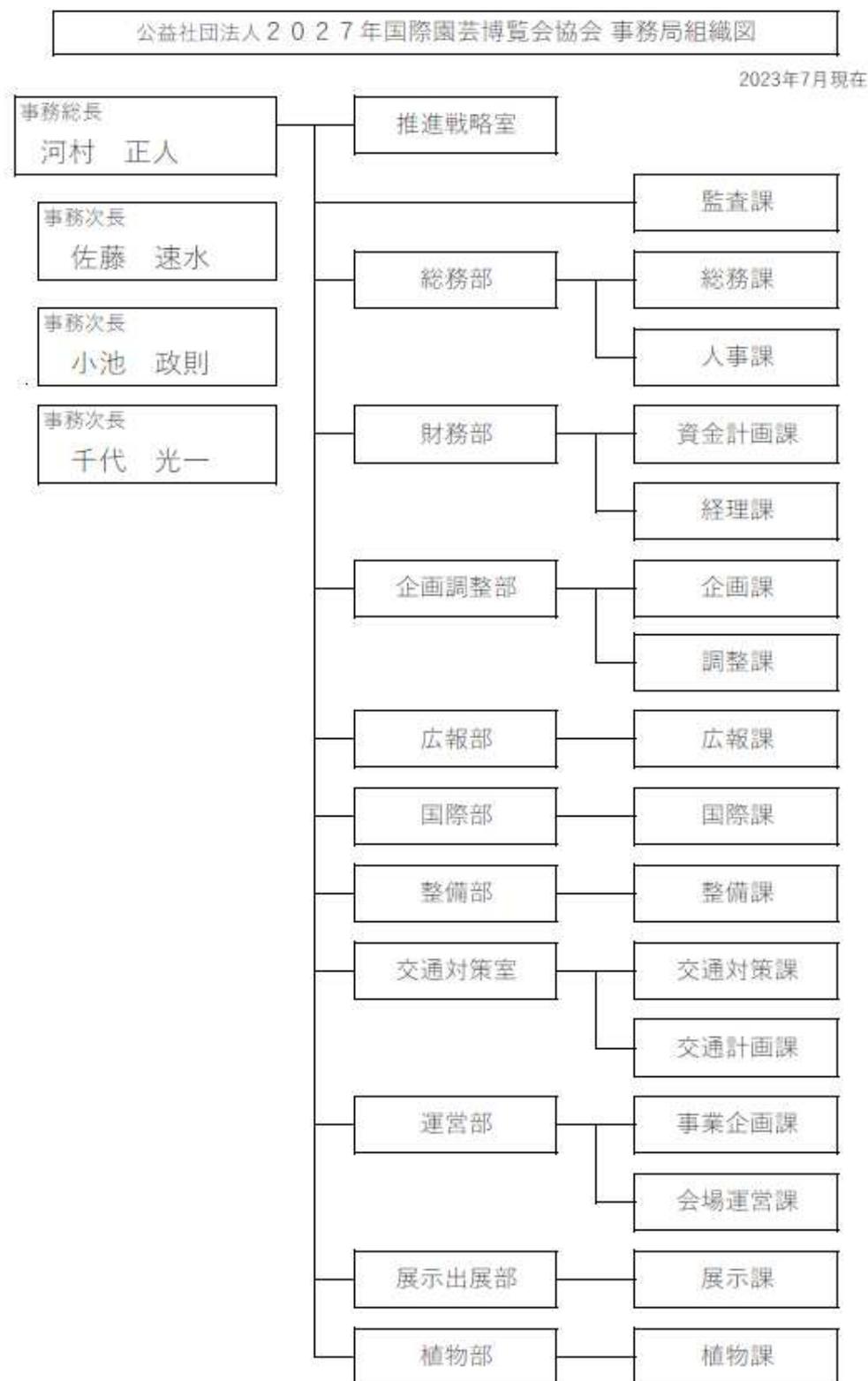
## 事務局組織図（2023年6月時点）

公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会 事務局組織図

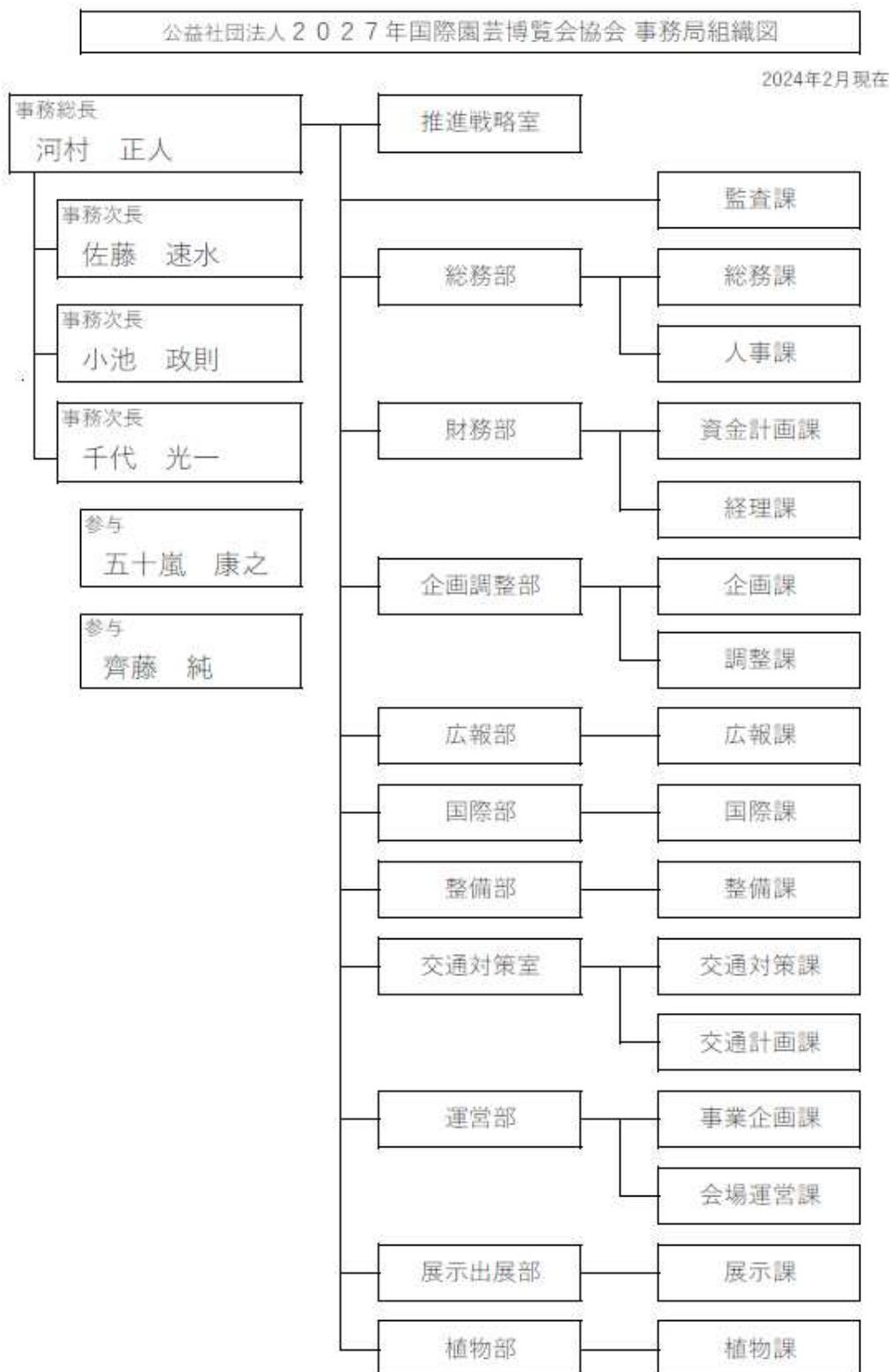
2023年6月現在



## 事務局組織図（2023年7月時点）



## 事務局組織図（2024年2月時点）



## 事業報告書の附属明細書

2023年度事業報告（2023年4月1日から2024年3月31日まで）には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」として記載すべきことはない。

2024年5月24日

## 監査報告

公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会

代表理事 十倉 雅和 殿

公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会

監事 二川 裕之



2023年4月1日から2024年3月31日までの事業年度の事業報告、計算書類、これらの附属明細書その他理事の職務執行の監査について、次のとおり報告します。

## 1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めると共に、理事会その他の重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁文書等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

## 2. 監査の結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示しています。
- (2) 理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- (3) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は当法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に表示しています。

以上

2024年 5月24日

## 監査報告

公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会  
代表理事 十倉 雅和 殿

公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会  
監事 太田 眞晴 

2023年4月1日から2024年3月31日までの事業年度の事業報告、計算書類、これらの附属明細書その他理事の職務執行の監査について、次のとおり報告します。

### 1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めると共に、理事会その他の重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁文書等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

### 2. 監査の結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示しています。
- (2) 理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- (3) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は当法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に表示しています。

以上

## 提案事項 第2号提案

### 2023年度決算について

定款第42条第1項の規定により、2023年度決算について、資料3のとおり提案します。  
なお、監事からは、資料2のとおり監査報告を受領しています。

#### 【資料】

- ・ 資料3 2023年度財務諸表等（案）

## 2023 年度財務諸表等

(2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日まで)

(案)

公益社団法人 2027 年国際園芸博覧会協会

## 目 次

貸借対照表	1
正味財産増減計算書	2
財務諸表に対する注記	4
附属明細書	5
財産目録	6

## 貸借対照表

(令和6年3月31日現在)

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
<b>1. 流動資産</b>			
預金	1,767,175,016	1,157,772,177	609,402,839
未収金	139,237,028	0	139,237,028
前払金	2,500,000	0	2,500,000
立替金	5,522,791	2,196,988	3,325,803
前払費用	6,087,884	4,539,169	1,548,715
仮払金	0	29,422	△ 29,422
流動資産合計	1,920,522,719	1,164,537,756	755,984,963
<b>2. 固定資産</b>			
<b>(2) 特定資産</b>			
什器備品	1,337,250	1,487,250	△ 150,000
建設仮勘定	1,020,529,852	171,787,000	848,742,852
特定資産合計	1,021,867,102	173,274,250	848,592,852
<b>(3) その他固定資産</b>			
建物附属設備	23,625,902	17,695,229	5,930,673
什器備品	10,809,176	11,740,159	△ 930,983
商標権	1,703,966	0	1,703,966
商標権仮勘定	3,775,015	7,052,878	△ 3,277,863
敷金	21,065,700	17,130,414	3,935,286
その他固定資産合計	60,979,759	53,618,680	7,361,079
固定資産合計	1,082,846,861	226,892,930	855,953,931
資産合計	3,003,369,580	1,391,430,686	1,611,938,894
<b>II 負債の部</b>			
<b>1. 流動負債</b>			
短期借入金	2,510,000,000	1,285,000,000	1,225,000,000
未払金	1,628,890,696	1,027,804,585	601,086,111
預り金	777,927	417,739	360,188
流動負債合計	4,139,668,623	2,313,222,324	1,826,446,299
<b>2. 固定負債</b>			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	4,139,668,623	2,313,222,324	1,826,446,299
<b>III 正味財産の部</b>			
<b>1. 指定正味財産</b>			
国庫補助金	340,176,284	57,262,000	282,914,284
地方公共団体補助金	340,176,615	57,262,331	282,914,284
寄附金	284,251,534	1,487,250	282,764,284
指定正味財産合計	964,604,433	116,011,581	848,592,852
(うち基本財産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )
(うち特定資産への充当額)	( 964,604,433 )	( 116,011,581 )	( 848,592,852 )
<b>2. 一般正味財産</b>			
(うち基本財産への充当額)	△ 2,100,903,476	△ 1,037,803,219	△ 1,063,100,257
(うち特定資産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )
(うち特定資産への充当額)	( 57,262,669 )	( 57,262,669 )	( 0 )
正味財産合計	△ 1,136,299,043	△ 921,791,638	△ 214,507,405
負債及び正味財産合計	3,003,369,580	1,391,430,686	1,611,938,894

(注) 前年度の欄の数値は、令和4年12月20日から令和5年3月31日迄の決算額を計上している。

**正味財産増減計算書**  
(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
<b>1. 経常増減の部</b>			
<b>(1) 経常収益</b>			
<b>受取補助金等</b>	<b>183,501,374</b>	<b>119,597,580</b>	<b>63,903,794</b>
受取補助金等振替額	183,501,374	119,597,580	63,903,794
<b>受取寄附金</b>	<b>165,655,716</b>	<b>1,012,750</b>	<b>164,642,966</b>
受取寄附金振替額	165,655,716	1,012,750	164,642,966
<b>雑収益</b>	<b>232,461</b>	<b>214,487</b>	<b>17,974</b>
雑収益	232,461	214,487	17,974
<b>経常収益計</b>	<b>349,389,551</b>	<b>120,824,817</b>	<b>228,564,734</b>
<b>(2) 経常費用</b>			
<b>事業費</b>	<b>1,222,033,375</b>	<b>681,553,336</b>	<b>540,480,039</b>
役員報酬	42,194,729	14,040,000	28,154,729
給料手当	160,931,789	16,323,998	144,607,791
臨時雇賃金	5,091,745	984,557	4,107,188
福利厚生費	84,550,325	19,051,475	65,498,850
研修費	0	3,500	△ 3,500
会議費	223,874	80,714	143,160
旅費交通費	23,353,992	2,249,866	21,104,126
通信運搬費	765,367	564,798	200,569
備用品費	1,457,956	9,804,250	△ 8,346,294
印刷製本費	2,775,832	169,063	2,606,769
光熱水料費	8,101,532	3,378,250	4,723,282
委託費	743,146,585	600,168,517	142,978,068
賃借料	44,091,279	5,141,031	38,950,248
租税公課	2,528,500	785,513	1,742,987
支払報酬	59,525,438	8,757,159	50,768,279
支払手数料	34,035,057	37,895	33,997,162
広告宣伝費	8,825,438	0	8,825,438
減価償却費	239,682	12,750	226,932
雑費	194,255	0	194,255
<b>管理費</b>	<b>190,456,433</b>	<b>136,855,399</b>	<b>53,601,034</b>
役員報酬	5,743,557	1,880,000	3,863,557
給料手当	41,490,216	3,895,731	37,594,485
臨時雇賃金	23,633,056	6,242,028	17,391,028
福利厚生費	26,417,352	6,275,363	20,141,989
会議費	16,987	3,968	13,019
旅費交通費	1,486,607	168,526	1,318,081
通信運搬費	564,401	266,762	297,639
備用品費	14,915,209	3,474,085	11,441,124
修繕費	2,441,612	0	2,441,612
印刷製本費	38,298	59,164	△ 20,866
光熱水料費	2,558,368	1,073,661	1,484,707
委託費	41,983,752	108,693,626	△ 66,709,874
賃借料	16,040,193	1,594,722	14,445,471
保険料	151,840	120,390	31,450
租税公課	801,014	189,063	611,951
支払報酬	4,402,464	1,689,545	2,712,919
支払手数料	363,495	100,650	262,845
支払利息	3,446,296	217,307	3,228,989
減価償却費	3,382,330	801,072	2,581,258
雑費	579,386	109,736	469,650
<b>経常費用計</b>	<b>1,412,489,808</b>	<b>818,408,735</b>	<b>594,081,073</b>
<b>評価損益等調整前当期経常増減額</b>	<b>△ 1,063,100,257</b>	<b>△ 697,583,918</b>	<b>△ 365,516,339</b>
評価損益等計	0	0	0
<b>当期経常増減額</b>	<b>△ 1,063,100,257</b>	<b>△ 697,583,918</b>	<b>△ 365,516,339</b>

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>2. 経常外増減の部</b>			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
<b>当期一般正味財産増減額</b>	<b>△ 1,063,100,257</b>	<b>△ 697,583,918</b>	<b>△ 365,516,339</b>
一般正味財産期首残高	△ 1,037,803,219	△ 340,219,301	△ 697,583,918
一般正味財産期末残高	△ 2,100,903,476	△ 1,037,803,219	△ 1,063,100,257
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
<b>受取補助金等</b>	<b>749,329,942</b>	<b>234,121,911</b>	<b>515,208,031</b>
受取国庫補助金	374,665,925	117,060,000	257,605,925
受取地方公共団体補助金	374,664,017	117,061,911	257,602,106
<b>受取寄附金</b>	<b>448,420,000</b>	<b>2,500,000</b>	<b>445,920,000</b>
受取寄附金	448,420,000	2,500,000	445,920,000
<b>一般正味財産への振替額</b>	<b>△ 349,157,090</b>	<b>△ 120,610,330</b>	<b>△ 228,546,760</b>
一般正味財産への振替額	△ 349,157,090	△ 120,610,330	△ 228,546,760
<b>当期指定正味財産増減額</b>	<b>848,592,852</b>	<b>116,011,581</b>	<b>732,581,271</b>
指定正味財産期首残高	116,011,581	0	116,011,581
指定正味財産期末残高	964,604,433	116,011,581	848,592,852
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>△ 1,136,299,043</b>	<b>△ 921,791,638</b>	<b>△ 214,507,405</b>

(注) 前年度の欄の数値は、令和4年12月20日から令和5年3月31日迄の決算額を計上している。

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法  
 有形固定資産 建物附属設備、什器備品…定額法  
 無形固定資産 商標権…定額法
- (2) 消費税等の会計処理  
 消費税等の会計処理は、税込方式です。

### 2. 特定資産の増減額及びその残高 特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりです。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
什器備品	1,487,250	0	150,000	1,337,250
建設仮勘定	171,787,000	848,742,852	0	1,020,529,852
合計	173,274,250	848,742,852	150,000	1,021,867,102

### 3. 特定資産の財源等の内訳 特定資産の財源等の内訳は、次のとおりです。

(単位：円)

科目	当期末残高	〔うち指定正味財産 からの充当額〕	〔うち一般正味財産 からの充当額〕	〔うち負債に対応 する額〕
特定資産				
什器備品	1,337,250	( 1,337,250 )	( 0 )	( 0 )
建設仮勘定	1,020,529,852	( 963,267,183 )	( 57,262,669 )	( 0 )
合計	1,021,867,102	964,604,433	57,262,669	0

### 4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりです。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	25,100,823	1,474,921	23,625,902
什器備品	16,186,624	4,040,198	12,146,426
商標権	1,793,648	89,682	1,703,966
合計	43,081,095	5,604,801	37,476,294

### 5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりです。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
(受取補助金等) 2027年国際園芸博覧会 事業費補助金	横浜市	45,809,865	299,731,214	73,399,787	272,141,292	指定正味財産
2027年国際園芸博覧会 事業費補助金	神奈川県	11,452,466	74,932,803	18,349,946	68,035,323	指定正味財産
2027年国際園芸博覧会 事業費補助金	国土交通省	28,631,000	187,332,962	45,875,820	170,088,142	指定正味財産
2027年国際園芸博覧会 事業費補助金	農林水産省	28,631,000	187,332,963	45,875,821	170,088,142	指定正味財産
合計		114,524,331	749,329,942	183,501,374	680,352,899	

### 6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりです。

(単位：円)

内容	金額
経常収益への振替額	
補助対象経費計上による受取補助金等振替額	183,501,374
資金使途対象経費計上による受取寄附金振替額	165,505,716
減価償却費計上による受取寄附金振替額	150,000
合計	349,157,090

# 附 属 明 細 書

## 1. 基本財産及び特定資産の明細

特定資産について、財務諸表に対する注記2に記載をしているので内容の記載を省略しています。

## 2. 引当金の明細

該当なし

# 財産目録

(令和6年3月31日現在)

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
預金	普通預金 横浜銀行 横浜市庁支店	運転資金として	1,767,175,016
未収金	横浜市他	地方創生応援税制寄附金に係る負担金他	139,237,028
前払金	㈱ラッキースター	2024年度業務委託料	2,500,000
立替金	国	社会保険料	5,522,791
前払費用	松村(株) 建通新聞社他	4月分事務所賃貸料、清掃料 次年度年間購読料	5,870,084 217,800
流動資産合計			1,920,522,719
(固定資産)			
特定資産	什器備品	カウンタダウンボード	1,337,250
	建設仮勘定	博覧会会場設計料他	1,020,529,852
その他 固定資産	建物附属設備	パーティション工事他	23,625,902
	什器備品	カラー複合機他	10,809,176
	商標権	国際園芸博覧会公式ロゴ マーク	1,703,966
	商標権仮勘定	国際園芸博覧会公式マス コットキャラクター	3,775,015
	敷金	横浜市中区住吉町1-13	21,065,700
固定資産合計			1,082,846,861
資産合計			3,003,369,580
(流動負債)			
短期借入金	横浜銀行 横浜市庁支店	運転資金のための借入	2,510,000,000
未払金	横浜市他	労務委託費、給料手当、備用品費、支払報酬等	1,628,890,696
預り金	職員他	社会保険料他	777,927
流動負債合計			4,139,668,623
(固定負債)			
固定負債合計			0
負債合計			4,139,668,623
正味財産			△ 1,136,299,043

## 提案事項 第6号提案

### 第9回（定時）社員総会の開催について

定款第13条の規定により、第9回（定時）社員総会の開催について、次のとおり提案します。

- 1 日時：2024年6月19日（水）10:00-11:30
- 2 場所：東京商工会議所 渋沢ホール（東京都千代田区丸の内3-2-2）  
（Web会議併用）
- 3 議題：
  - (1) 決議事項
    - ・理事の再任について
    - ・2023年度決算について
  - (2) 報告事項
    - ・2023年度事業報告について
    - ・2024年度事業計画及び予算について

#### 【参考条文】

○公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会 定款

第13条 社員総会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき第20条第3項に規定する代表理事が招集する。ただし、代表理事に事故あるとき又は代表理事が欠けたときは、あらかじめ理事会で定められた順位により各理事がこれにあたる。

# 公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会

## 第17回理事会 役員名簿

(第17回理事会時点。協会役職順・氏名 五十音順。敬称略)

協会役職	氏名	所属・役職
会長・代表理事	十倉 雅和	一般社団法人 日本経済団体連合会 会長
事務総長・代表理事	河村 正人	事務総長
副会長・理事	石渡 恒夫	一般社団法人 神奈川経済同友会 代表幹事
副会長・理事	上野 孝	一般社団法人 神奈川県商工会議所連合会 会頭
		横浜商工会議所 会頭
副会長・理事	黒岩 祐治	神奈川県知事
副会長・理事	小林 健	日本商工会議所 会頭
副会長・理事	新浪 剛史	公益社団法人 経済同友会 代表幹事
副会長・理事	野並 直文	一般社団法人 神奈川県経営者協会 会長
副会長・理事	山中 竹春	横浜市長
副会長・理事	和田 新也	一般社団法人 日本造園建設業協会 会長
理事	河原 隆子	横浜商工会議所 女性会 会長
理事	草野 満代	フリーアナウンサー
理事	小室 淑恵	株式会社 ワーク・ライフバランス 代表取締役社長
理事	サヘル・ローズ	俳優
理事	田代 桂子	公益社団法人 経済同友会 副代表幹事 大和証券グループ本社 取締役 兼 執行役副社長
理事	田中 里沙	学校法人 先端教育機構 事業構想大学院大学 学長
理事	ナリン アドバニ	entomo pte. ltd. Co-Founder BIPROGY 株式会社 社外取締役
理事	南場 智子	株式会社 ディー・エヌ・エー 代表取締役会長
理事	宮永 俊一	公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会財務委員会委員長
理事	横田 響子	株式会社 コラボラボ 代表取締役
理事	吉高 まり	三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 フェロー(サステナビリティ)
事務次長・ 業務執行理事	佐藤 速水	事務次長
事務次長・ 業務執行理事	小池 政則	事務次長
事務次長・ 業務執行理事	千代 光一	事務次長
監事	太田 真晴	前日本公認会計士協会 神奈川県会 会長
監事	二川 裕之	元神奈川県弁護士会 会長

## 2024年度 理事会総会等予定一覧

参考資料

時期	名称	主な議題	備考
6月	第17回理事会	<b>【議決事項】</b> ・2023年度事業報告について ・2023年度決算について ・常勤理事の報酬の額について ・財務委員会の委員の選任について ・理事の利益相反取引の承認について ・第9回（定時）社員総会の開催について <b>【報告事項】</b> ・2023年度内部監査結果について ・特定寄附金及び指定寄附金に関する指定期間の延長について ・理事の利益相反取引の報告について	書面開催 （6月5日議決）
	第9回（定時）社員総会	<b>【議決事項】</b> ・理事の再任について ・2023年度決算について <b>【報告事項】</b> ・2023年度事業報告について ・2024年度事業計画及び予算について	実開催 （6月19日開催）
	第18回理事会	<b>【議決事項】</b> ・事務総長及び事務次長の選定について <b>【報告事項】</b> ・政府委員の就任について ・GREEN×EXPO2027の準備状況について ・2024年度の理事会総会等の予定について	実開催 （6月19日開催）
9月 ～10月	●現地視察	/	昨年同様、理事・監事の皆様を対象とした現地（旧上瀬谷通信施設跡地）への視察を行う予定です。
11月頃	第19回理事会	<b>【議決事項】</b> ・未定 <b>【報告事項】</b> ・本年度上半期職務執行状況報告 等	実開催
3月頃	第20回理事会	<b>【議決事項】</b> ・次年度事業計画 ・次年度予算 ・理事の報酬の具体額 等 <b>【報告事項】</b> ・進捗報告 等	実開催

※上記の他、臨時（書面開催を想定）の理事会・社員総会を開催することがございます。